

2020年12月21日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、アンデス開発公社が発行する教育ボンドへの投資について ～中南米およびカリブ地域諸国への教育支援～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）（以下「当社」）は、この度、アンデス開発公社（正式名称：Corporación Andina de Fomento、以下「CAF」）が発行する教育ボンド（以下、「本債券」）への投資を行いましたのでお知らせいたします。

今回の投資は、当社が機関投資家として社会的責任を果たす中で進めているESG投融資の一環であり、ESGの分野で精力的な起債活動を続けるCAFが教育事業に資金使途を限定して発行する債券へ投資するものです。

本債券の調達資金は、中南米およびカリブ地域諸国における教育へのアクセス拡充や、教育の質の向上等を達成するための関連プロジェクトに充当される予定です。具体的には、就業にあたっての職業訓練や、幼稚園・小学校の学校施設等の建設、バイリンガル子女教育のための支援、教職者のための教育などのプロジェクトに活用されます。

<概 要>

発行体：アンデス開発公社（Moody's 格付け：Aa3、S&P 格付け：A+、Fitch 格付け：A+）
資金使途：中南米およびカリブ地域諸国における教育へのアクセス拡充や、教育の質の向上等を達成するための関連プロジェクトに充当予定
発行総額：3,000万米ドル（約31億円相当）※1ドル=104.04円で換算
償還期間：2025年12月21日（5年）

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(*)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以 上

(*) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。